

多摩

組報 多摩 No.14
 発行日 2014年11月1日
 浄土真宗本願寺派
 東京教区 多摩組
 事務所/西照寺内
 東京都調布市若葉町1-39
 〒182-0003 TEL03-3300-7734
<http://www.tama-so.org/>

法統継承式(ご門主のお代替わり)厳修
 第二十四代即如上人(大谷光真ご門主)より
 第二十五代専如上人(大谷光淳ご門主)へ



法統継承式

六月五日京都本願寺の御影堂において、午後三時半からご門主より「退任に際しての消息」が發布され、その夕方、「御譲渡式(ごじょうとしき)」が行われました。親鸞聖人のご真影を安置する御影堂の厨子の鍵と、ご門主の印章および衣体をご門主から新門さまに譲渡されました。

翌日六月六日に、門主及び本山本願寺の住職を引き継ぐ「法統継承式(ほうとうけいしようしき)」が行われました。本願寺の第二十四代住職で、浄土真宗本願寺派の門主である即如上人(大谷光真ご門主)から第二十五代を継承されたご長男の専如上人(大谷光淳ご門主)へお代替わりをされた儀式です。

法要は、阿弥陀堂では「無量寿経作法」、御影堂では「広文類作法」の法要が専如ご門主御導師のもと厳修されました。昨日まで専如上人がお座りになられていた処には、前門様とられた即如上人がご出座されました。

法要後、その場にて式典が行われ、ご門主となられてのご決意を『法統継承に際しての消息』として親読されました。

全国各地より僧侶や門信徒が集い、本願寺の阿弥陀堂そして御影堂とも縁も含めて満堂となり、御影堂前に設けられたテントの椅子も満席となりました。立って参拝されている方も多く見受けられました。

およそ八千人の国内外の有縁の門信徒・僧侶の、二度とない希有の御勝縁でした。

第九期連続研修会が修了！

実践運動委員長

誓願寺住職 藤原 忠房
ふじわらただふさ

八月二日、多摩組第九期連続研修会（連研）が修了しました。

足かけ三年（度）にわたり、「連研ノート東京」をテキストとし、組内の住職が持ち回りで講師を務め、全十二回の研修が行われました。

第十二回連研に引き続き修了式が行われ、三十四名の修了者が酒井淳組長より修了証と記念品を授与されました。

組連研を修了し、本山の中央教修（三泊四日）を受講しますと、門徒推進員に任命されます。門徒推進員は、住職とともに法座活動の活発化、寺院活動の活性化に寄与する、重要な役割を担います。多摩組には現在、十七名の門徒推進員の方々がおられます。

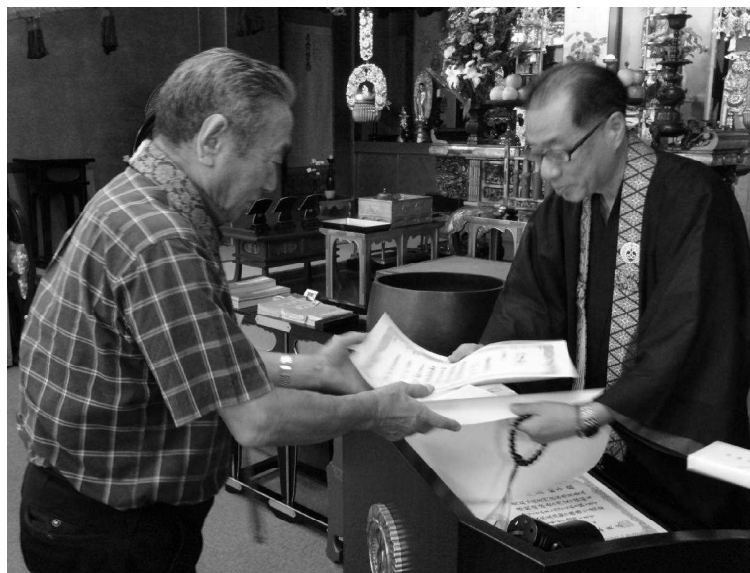
多摩組では、来年度の後半より第十期連研を行う予定です。さまざまなテーマのもと、話し合い法座を通して、学びを深めていただければと思います。年齢制限はありませんので、どなたでもふるってご参加下さい。

連続研修会に参加しませんか？

連続研修部部长

正善寺住職 佐々木賢秀
ささきけんしゅう

連続研修は、グループごとの話し合いに



連研修了式 修了証の授与

よって進められます。研修と言いますが、難しいものだとの見方がありますが、この研修ではそれがありません。

自由な雰囲気グループごとに話し合いを行い、理解を深めていく方法です。内容は、普段あまり話し合う機会がない浄土真宗の基本的な項目に加えて、「いのち」や「平和」といったことを話し合う研修です。話し合いを通して理解を深め多くの方々とも知り合う事が出来、それが後から広いつながりとなってゆきます。今回はのべ四四〇名の方が参加され、大きな広がりとなってゆきました。参加された方々は幅広い年齢層またがっており、研修終了後所属の寺院にて生き生きと活躍されておられます。

善友会（若手僧侶の会）発会

善友会会長 網代 孝二
あじろ こうじ

多摩組の次の世代の寺院を担う若手僧侶の会「善友会」を昨年立ち上げました。前田寿雄先生（浄土真宗本願寺派総合研究所東京支所研究員）を講師に迎え、ゼロからの浄土真宗勉強会を軸に若手間の親睦会、法要、勤式の練習等月一回のペースで活動しています。

ご門徒の皆様からお寺を任されるに足る住職になるために切磋琢磨しております。まだまだ若輩者の集まりですが、少しでもお念仏が世に広がるお手伝いができるよう会員一同精進してまいります。

ご紹介

得度を受けて
新しく僧侶になられた方

杉本有希さん（光源寺衆徒）
嶋田京子さん（覚證寺衆徒）
門馬千恵子さん（延立寺衆徒）
以上三名です。おめでとーございます。

「多摩組ビハークラ活動推進協議会」

代表 光源寺住職 佐々木瑞恵
副代表 覺證寺住職 細川真彦
発起人 組仏壯連盟理事 五味新悟
発起人 浄弘寺門徒 二川祐子
発起人 組門推協議会代表 麻木純三郎
発起人 明西寺仏壮会長 大久保賢吉朗
(事務担当)

お問い合わせは、覺證寺（事務局）
までご連絡ください。

電話 〇四二（四八二） 五五五六

「多摩組ビハーラ活動推進協議会」を設立

光源寺住職

佐々木 瑞恵

浄土真宗のみ教えを頂くものとして、生老病死の苦しみに直面している人を孤独の中に置き去りにしないよう、寄り添い朋に歩む活動として「多摩組ビハーラ活動推進協議会」が本年四月の多摩組「組会」で承認され、初めの一步を踏み出しました。

「ビハーラ」とは、サンスクリット語（梵語）インドの古語で、「僧院・寺院あるいは安住・休養、くつろぎの場」などを指す言葉で、西洋のホスピスに代わり、仏教の理念に基づいて行われる全人的ケア（身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛への対応）の活動として一九八五年に提唱されました。以来、この活動は浄土真宗のみならずさまざまな宗派を超えて全国的な活動となり、今日に至っています。

この活動は、大谷光真前ご門主が『教書』において、信心の行者の姿として、「その生活は、如来の本願を究極の依りどころと仰ぐとともに、罪悪生死の凡夫であることにめざめた、喜びと慚愧の生であります。さらに、如来の大悲につつまれて、人間相互の信頼を確立した御同朋御同行の生活でもあります。そこに、自分だけの殻に閉じこもらず、自分自身がつくりかえられ、人びとの苦しみに共感し、積極的に社会に関わっていく態度も形成されていくでありましょう」とお示しくださいましたように、苦しみ悩む人と共に歩むことで、自分自身がたくさんの気づきをいただき、成長させていただく場があります。

さて多摩組におけるビハーラ活動の展開をどのようにしていくか、協議会メンバーと何

度か話し合いを重ね、まず第一回目の設立記念講演会を開催する運びとなりました。

九月一日に覺證寺様を会所として、種村健二朗先生（医師・杏雲堂病院緩和ケア顧問）に「死ぬ苦しみからの解放」をテーマにお話をいただきました。「死苦の解決を求めて仏教が成立したことを踏まえれば、死ぬ苦しみからの解放はビハーラケアの目標であろう。その実践のなかに真の宗教活動があると思っ

ている」という先生の浄土真宗のみ教えを掘り所にしたビハーラ活動への、熱い思いをお伝えいただきました。今回は告知（本当のこゝとを伝えること）についての歴史を、わかり易く説明いただき、告知の大切さを、改めて深く理解いたしました。現在は告知が進み、死ぬことを伝えられて顕在化する苦しみからの解放への関わりがより求められています。

この会には三四名の方のご参加がありました。先生のご講演の後に、参加者からの質問も、出されました。ビハーラそのものの名称や活動の内容も、社会一般にはまだまだ認知されておらず、「いったい、どのような活動をするのか」と思われている方がほとんどのようでした。今後の活動も、そのことを伝えていくことが、第一歩になるかと思つていきます。実践の場に身を置かないと、分からない活動なので、そのような場作りが早急に必要だと考えております。今回参加された方々は勿論、関心をお持ちの方々に「ご参加いただき、多摩組としての「ビハーラ活動」は如何に展開していくべきかについて話し合い、進めていきたいと思つていきます。浄土真宗のみ

教えに生きる御同朋御同行として、手を携え、苦しんでいる方に寄り添っていただければと願っています。

東日本大震災以後、被災された方々の心の傷に多くの宗教者が真摯に向き合ったことで、宗教の必要性・重要性が強く認識されるようになってきています。この声に応えて、「どこまでいっても心の傷が癒えず苦しんでおられる方々に寄り添っていきたい」と、宗派を超えて東北大学に開設された寄附講座により、「臨床宗教師」の育成が始まっています。私も、第五期の研修を受けた一人ですが、あのような理不尽とも言える大災害に遭ったことで、人間の力ではどうにも解決できない問題も多々顕在化してきています。しかし、「自分を超えた大きな存在」に気づかされたとき、安らぎは戻ってきます。

この活動は、「困った方に何かをして差し上げる」活動ではありません。人生の困難に遭遇した方こそが、「問い」を持った方であり、「阿弥陀さまの救いの目当ての方である」と心から大切に敬い寄り添っていくなかで、関わらせていただくこの私自身も、たくさんの教えをいただく場です。

お念仏をいただき、「自・他」の垣根を取り払って阿弥陀さまの方向を向いたとき、はじめて大悲に気づかされ、苦しみからの解放が与えられるのだと思います。

浄土真宗のみ教えに問いつつ、お互いにご信心を深める場として、多摩組のビハーラ活動が進められればと願っています。皆様のご参加を、心より念じております。

合掌



仏教壮年会

多摩組仏教壮年会連盟理事長

井上義次いのうえよし



前任の覺證寺五味新吾前理事長が三月末日をもって任期満了により退任したのに伴い、四月に多摩組仏教壮年会連盟理事長に就任致しました、圓成寺の井上義次と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。初めての事ばかりで戸惑いばかりですが、皆様のご指導ご鞭撻ご協力を頂き活動を推進したいと考えています。よろしくお願いたします。

多摩組仏教壮年会連盟の活動

第一回理事会が、五月十一日(日)圓成寺において開催されました。役員改選、二十五年度活動報告および決算、二十六年年度活動計画(案)および予算(案)その他が審議され、承認されました。

第二回理事会が六月二十一日(土)圓成寺にて開催され、理事研修会、その他について審議されました。また、多摩組の寺院

を訪問する機会が少ないという意見があり、八月二十七日(水)阿弥陀寺にて理事研修会を開催いたしました。

当日は理事十五名、圓成寺・円城住職、阿弥陀寺・葭原総代が参加。五十嵐住職から昭和四十二年新潟(長岡市)より多摩市に移転された歴史やお寺の活動内容を教えて頂きました。

阿弥陀寺には門信徒を中心とした明宝会があり、十四のグループが活発に活動しています。その一つ、社会貢献活動として、ニューヨークの国連国際学校の生徒八名が寺を訪問(三月二十八日)。日本の文化や宗教を味わってもらいながら、当日は門信徒の子や孫も同席し、外国の生徒と会話をして楽しい思い出を残したとのこと。最後に、理事会出席者全員に抹茶と季節の和菓子のご接待を頂き、阿弥陀寺での理事研修会を終えました。

本年度の多摩組仏教壮年会連盟研修会は、十月二日(木)〜三日(金)の東北被災地訪問多摩組研修旅行に代えさせていただきます。

総代世話人会

多摩組総代世話人会代表 土田良幸つちだ よしゆき

多摩組の総代・世話人は、各寺院の総代・世話人さんで実行委員会を組織して活動しています。

① 四月六日に西照寺様を会場に、実行委員会を開催。今年度の活動計画案を検討致しました。終了後懇親会を開催。

② 九月六日に築地本願寺で開催された、東京教区門徒総代・世話人会一日研修会に参加致しました。多摩組からは二十三名の参加がありました。

③ 十月二日・三日に仏教壮年会研修、僧侶研修、総代・世話人会研修の合同研修旅行を開催。東日本大震災より三年が過ぎた今、被災地の現状を実際に見学させて頂きいろいろなことを学ばせて頂きました。今回の研修では、津波の被害を受けた仙台市宮城野地区の専能寺様、支援の窓口となっている仙台別院・東北ボランティアセンターでお話を伺いながら、被災地を視察させて頂きました。本当の支援はこれからだという強い思いを抱きました。

④ 全国門徒総代会で「東日本大震災支援金の募金活動に積極的に協力する」ことを決議されました。一口五百円以上のご寄付を、平成二十七年三月三十一日をめどにお願い致します。支援金の募金は各寺院へお届けください。

⑤ 平成二十七年三月に実行委員会を開催予定。



仏教婦人会

東京教区仏教婦人会連盟多摩組代表

磯川 歳子

教区の婦人会ではダーナ部会に所属しております。主な活動は、ダーナ募金をいただく事と老人ホームあそか園のホーム喫茶の手伝いです。

フィリピン台風災害の時もすぐに募金の中から義援金を送られました。その他いろいろなど義・支援されています。

ホーム喫茶というのは、お年寄りやリハビリを受けておられる方が皆で楽しい一時を過ごされる時間に、甘味やコーヒー・おでん・お好み焼き、また普段口にする事はないであろうビールやお酒も販売します。

そして最後に「今日も事故もなく楽しく終われました。」という栄養士さんの言葉にホッと感謝します。

初めて経験する事ばかりでしたが、同じ志を持って活動するすばらしさを体験しました。

門徒推進員協議会

門徒推進員協議会世話人

麻木 純三郎

メンバーは十月末日現在十七名ですが、「第九期連続研修会」が終了し、修了者の中から十名位の人が、中央教修を受講すると聞いています。もしそうなると一挙に二十七名となり、これからどう運営していくか、一つの曲がり角にきているようです。

(1) 読書会について

一昨年度から「高校生からの仏教入門・釈尊から親鸞聖人へ(小池秀章師)」をテキストに実施していましたが、このたび終了しました。これから、どのようなテキストを使用し、どんなスタイルで実施していくかを皆で検討中です。

(2) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要への参加

今年も九月十八日(木)に有志の方が参加しました。新しく第二十五代門主になられた専如さまが法要のお勤めを厳修されました。

(3) 第一連区門徒推進員実践運動研修会

北海道・東北・東京・長野・国府・新潟の六教区を併せて第一連区が構成されています。連区内の門徒推進員研修会が、九月二十七日(土)〜二十八日(日)、築地本願寺で開催されました。

各教区の活動報告が行われ、懇親会で交流を深めました。講義は、第一日が麻布明徳師(連研中央講師、東海教区中勢組善福寺住職)、テーマは「今、門徒推進員として」、第二日は、今井雅晴氏(筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)「テーマは「関東伝道八百年」でした。全体の参加者は約百名、多摩組から六名参加しました。

(4) 連研記録集の作成

第九期連続研修会は八月二日(土)に終了し、三十四名の方が修了証を受領しました。前回に続き記録集を作成するべく、協議会のメンバーで作業中です。完成後に、各寺院・連研修了者・門徒推進員・関係者に配布する予定です。

(5) 門徒推進員として

実践運動(御同朋の社会をめざす運動)の中心として、門徒推進員の活動が期待されています。各地区で総代として、仏・仏婦の役員として、門徒推進員の活動が報告されています。一方、門徒推進員になつたけれど、住職からは声もかけられず、何をしようかわからないといった声も、よく聞かれます。中央教修では「門徒推進員は資格ではなく自覚である」と言われますが、もう一度原点に立ち戻って、門徒推進員の役割を見直すことも、大切なことであると考えています。



中ブロック門徒子弟研修会

サマーキャンプ in ぶじの

毎年恒例のサマーキャンプ（中ブロック門徒子弟研修会）は、八月四日から五日の一泊二日で、藤野（相模原市）にある「桐花園（とうかえん）」で行いました。

この宿にはキャビンが点在し、敷地内には川も流れていて、都内からわずか一時間ほどの場所とは思えない、静かで自然豊かな施設でした。

参加者は少し少なかったですが、小学生は二十三名、OB・OGの中学生から大学生を含め、スタッフ三十六名の合計五十九



滝の前 「すずしいーい！」

名での開催となりました。

圓福寺にて開会式の後、バスで藤野へ移動、昼食の後は、早速、川遊びです。深さはないものの、大人も子供も全身に水を浴びながら、楽しんでいました。少し上流に行くと滝もあったり、時間いっぱい遊びました。

夕食は、恒例のバーベキュー。最近の子供たちは少食なのが気になりましたが、スタッフが汗だくで火と格闘し、おいしくいただきました。

夕食後は、近くの小山に登り、星空観察のつもりでしたが、あいにくの曇り空で、あまり見えませんでした。ちよつとした肝試しになったようです。



猛獣狩りにいこう～ヨ 「ヤリだって持ってるし！」

昼間は大変暑かったのですが、夜は思ったより涼しく、都心からわずかな距離ですが、快適に寝ることができました。

次の日の朝食後は、うどん作り体験です。自分で作ったうどんがお昼ご飯になるので、子供たちもスタッフも真剣です。苦勞しながら、何とか完成し、おいしくいただくことができました。同じように作ったつもりでも、班ごとに太さや食感が違い、なかなか良い体験ができたと思います。

今年も、OB・OGがサブリーダーとして参加してくれて、自分達が体験したことを踏まえて、参加者の面倒を見てくれるので、とてもありがたかったと思います。

帰りに子供たちに聞くと、来年は海に行きたいという意見が多かったので、それを参考に、企画をしたいと思います。

（圓城）



みんなでジャンケン。ポイ。

住職に聞きました

お寺を訪ねて

えんじょうじ

延浄寺(調布市西つじヶ丘)

今回お訪ねした延浄寺は、京王線つじヶ丘駅北口から徒歩十分の高台にあります。駐車場の向かいの立派な山門をくぐり、緩やかな坂を上った左手に門徒会館、正面に本堂があり、一段下ったところに墓地があります。

仏迎山延浄寺創建は、寛永壬申九年(一六三二年)二月二十五日、開基西照坊により江戸浜町に建立されました。その後明暦の大火(振袖火事)にあい、本願寺別院移転に伴い、築地に寺中寺院として移転しました。そして大正十二年(一九二三年)九月一日の関東大震災により崩壊・消失しま



網代正孝住職

した。以後区画整理、魚河岸の移転等により築地三百年の歴史を閉じ、昭和四年(一九二九年)、東京府下北多摩郡神代村金子向台二二九番(調布市西つじヶ丘二〇〇一)に移転しました。

ご住職網代正孝師は、昭和三十八年から教師として活躍されておられました。ご尊父の体調不良に伴い昭和五十七年三月ご退職されて十六代目として住職に専念されました。お寺は「地域の人たちに利用してもらおう。学びの場だけでなく触れ合いの場でもある。」というご方針から次の諸活動が行われています。

お寺の行事としては、元旦会(一月一日正午)、お彼岸会(春・秋お中日正午)・お盆・報恩講(十一月二十三日)等、自主的な運営として生け花の会・絵手紙の会・カラオケの会・うたごえ・触れ合いの会(六十五歳以上の男性の会)等ご門徒以外の地域の方々も参加しています。

また年四回(お盆、春・秋のお彼岸、年末のハガキ通信)「延浄寺だより」を発行し、文書布教にも努めておられます。

網代ご住職は独創的な発想の持ち主と拝見され、直葬の増える昨今を憂い、今までの形式や習慣に従うのではなく、その時代の生活習慣を反映したその人にふさわしい葬儀を行い、「命のけじめをつける」新しい葬式文化を提案しています。お墓についても「普通のお墓」「お寺のお墓(やすらぎの墓)」「自然墓―散骨―(俱会一処の墓)・(樹木葬:さくらの樹の下の墓)・忘れ形見(手元供養)」などが用意されており、

社会貢献活動としては、日比補完事業に

関わり、月一回渡比し、「ミンダナオ国際大学名誉学長」「網代日比相互補完事業基金代表」「日本フィリピンボランティア協会最高顧問」「タバオ市外国人名誉市民」として活躍されております。活動の内容としては、貧しい子供たちへの教育・福祉活動、山に緑を作る運動、教育・文化・福祉交流、平和資料館・保育園の建設、慰霊碑・記念碑の設置、介護士の育成・受入等非常に幅広いものです。

延浄寺のこれらの活動は、行政の目届かない所(福祉・障碍者)・地域の課題(場所の提供―触れ合い)・社会的役割(宗教心)に視点を置いて活動していきたいとご抱負を語られました。

これからも網代ご住職のますますのご活躍とお寺の発展を念じながら、延浄寺をあとにしました。(佐藤・辻・麻木)



延浄寺本堂

西本願寺 (京都・本山)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

築地本願寺・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目15番1号

築地本願寺電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

光徳寺 (こうとくじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-38-27
TEL03(3300)6431 FAX03(5384)3344
(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

明西寺 (みょうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-43-5
TEL03(3300)1901 FAX03(3300)2681
(法座:10日前後婦人会 1.4.8月壮年会)

延浄寺 (えんじょうじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-1
TEL03(3326)7337 FAX03(3326)5037
(法座:不定期 相談日第1土曜日午後予約)

長専寺 (ちょうせんじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-4
TEL042(482)3411 FAX042(498)1105
(法座:不定期)

西照寺 (さいしょうじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-39
TEL03(3300)7734 FAX03(3300)7794
(法座:毎月8日・第4土曜 親鸞会)

光西寺 (こうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-2
TEL03(3300)5054 FAX 同左
(法座:不定期)

光源寺 (こうげんじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-11
TEL03(3300)0881 FAX03(3308)6289
(法座:隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

覺證寺 (かくしょうじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-5
TEL042(482)5556 FAX042(480)0166
(法座:第1土曜日・聖典学習会 月1回)

正善寺 (しょうぜんじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-42-5
TEL03(3300)6064 FAX03(3300)6687
(法座:第1日曜日(1日なら8日))

安養寺 (あんようじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-5
TEL03(3307)5605 FAX03(3307)5496
(法座:第1日曜日)

圓福寺 (えんぶくじ) 〒182-0022
調布市国領町1-10-11
TEL042(482)7955 FAX042(481)4734
(法座:不定期)

国立市

應善寺 (おうぜんじ) 〒186-0002
国立市東2-2-1
TEL042(572)0043 FAX042(572)0148
(法座:毎月1日)

立川市

光西寺 (こうさいじ) 〒190-0021
立川市羽衣町3-20-16
TEL042(522)3413 <http://www.kousaiji.com/>
(法座:毎週金曜晚又は土曜昼 各種仏教講座)

小平市

照恩寺 (しょうおんじ) 〒187-0041
小平市美園町3-23-20
TEL042(341)2935 FAX042(347)4122
(法座:毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

浄弘寺 (じょうこうじ) 〒198-0036
青梅市河辺町8-19-8
TEL0428(32)1769 FAX0428(32)2010
(法座:第3土曜日)

八王子市

専念寺 (せんねんじ) 〒192-0063
八王子市元横山町2-14-24
TEL042(644)3491 FAX042(648)6087
(法座:隔月1回 お問い合わせ下さい)

誓願寺 (せいがんじ) 〒193-0816
八王子市大楽寺町209-5
TEL042(651)0073 FAX042(651)6183
(法座:第3木曜日・毎月10日大楽の集い)

光照寺 (こうしょうじ) 〒192-0912
八王子市絹ヶ丘3-8-1
TEL042(635)3754 FAX 同左
(法座:不定期)

本光寺 (ほんこうじ) 〒1923-0832
八王子市散田町4-40-10
TEL042(664)2196 FAX042(663)2501
(法座:仏教講座 第3金曜日)

延立寺 (えんりゅうじ) 〒193-0802
八王子市犬目町681
TEL042(654)2429 FAX042(654)6930
(法座:第4月曜日)

大恩寺 (だいおんじ) 〒193-0943
八王子市寺田町1085
TEL042(668)0889 FAX042(668)1825
(法座:第2土曜・第4日曜・第1土曜(婦人会))

町田市

圓成寺 (えんじょうじ) 〒194-0004
町田市鶴間1210
TEL042(795)0181 FAX042(795)0444
(法座:毎月28日)

(えんじょうじしゅっちょうしょ)
圓成寺出張所 〒194-0035
町田市忠生3-24-13
TEL042(792)3007 FAX042(792)3006
(法座:毎月10日 休日なら翌日)

(まちだふきょうしょ こうげんじ)
町田布教所 高源寺 〒195-0063
町田市野津田町2534-20
TEL042(737)3236 FAX 同左
(法座:第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

阿弥陀寺 (あみだじ) 〒206-0013
多摩市桜ヶ丘1-24-2
TEL042(375)8055 FAX042(337)4889
(法座:年3回・毎月28日 明宝会・毎月15日前後
極楽トンボ会)

稲城市

玄忠寺 (げんちゅうじ) 〒206-0822
稲城市坂浜878-6
TEL042(331)3655 FAX042(350)1530
(法座:第3日曜日)

(法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。)